

PC 300PL (Type 6862/6892)

SA88-6574-00

初期導入済ソフトウェアについて  
**(Windows 98 モデル)**







PC 300PL (Type 6862/6892)

SA88-6574-00

初期導入済ソフトウェアについて  
**(Windows 98 モデル)**

— お願い —

本書の情報および、本書がサポートする製品をご使用になる前に、必ず41ページの付録A、『ライセンス情報』および45ページの付録B、『特記事項および商標』をお読みください。

本書において、日本では発表されていないIBM製品（機械およびプログラム）、プログラミング、およびサービスについて言及または説明する場合があります。しかし、このことは、IBMがこのようなIBM製品、プログラミング、およびサービスを、必ずしも日本で発表する意図であることを示すものではありません。

原典： 01K4646  
IBM Personal Computer  
About Your Software  
Windows 98, Applications,  
and Support Software  
発行： 日本アイ・ビー・エム株式会社  
担当： ナショナル・ランゲージ・サポート

第1刷 1998.9

©Copyright International Business Machines Corporation 1998. All rights reserved.

Translation: ©Copyright IBM Japan 1998

---

本書について .....	v
<b>第1章 ソフトウェアの概説 .....</b>	<b>1</b>
導入済みソフトウェア .....	1
すぐに導入できるソフトウェア .....	3
<b>第2章 始動 .....</b>	<b>5</b>
本製品の初めての始動 .....	5
始動する前に必要なこと .....	5
「Windows 98 セットアップ」プログラムの実行 .....	6
IBM ウェルカム・センターの使用方法 .....	8
アプリケーション導入プログラムの使用方法 .....	9
オンライン・ブックを見る .....	10
AntiVirus、ConfigSafe、IBM System Management Tools、および その他のプログラムの使用法 .....	11
Norton AntiVirus for IBM .....	11
ConfigSafe .....	12
IBM System Management Tools .....	14
本製品の終了方法 .....	18
<b>第3章 他のオペレーティング・システムの導入 .....</b>	<b>19</b>
<b>第4章 Windows 98 再導入時の詳細手順 .....</b>	<b>21</b>
A. Windows 98 のインストール .....	21
B. ビデオのドライバーの導入 .....	26
C. Cirrus Logic CrystalClear Audio ドライバーの導入 .....	28
D. IBM 100/10 EtherJet PCI アダプター・ドライバーの導入 .....	30
E. Logitech ScrollPoint Mouse のドライバーの導入 .....	32
F. 同梱アプリケーションのインストール .....	33
<b>第5章 サポート CD の使用方法 .....</b>	<b>35</b>
CD の機能 .....	35
CD の始動 .....	36
<b>第6章 診断プログラムの使用方法 .....</b>	<b>39</b>
Enhanced Diagnostics .....	39

付録A. ライセンス情報 .....	41
プログラム名 .....	41
追加条件 .....	41
プログラム・サービス .....	42
保証 .....	42
その他 .....	42
その他の追加条件 .....	42
付録B. 特記事項および商標 .....	45
特記事項 .....	45
商標 .....	45

本書では、ユーザーのコンピューター資料の情報を補足します。今後参照するときのために、本書は他のコンピューター資料と一緒に保管しておいてください。

本書には、導入済みソフトウェアおよび本製品に付属しているその他のソフトウェアについての一般情報が記載されています。

本書は次のように編成されています。

- 第1章、『ソフトウェアの概説』には、本製品に付属のソフトウェアについての概説が記載されています。
- 第2章、『始動』には、コンピューターを使用して操作を開始し、ソフトウェア機能の一部を理解する上で役立つ情報が記載されています。
- 第3章、『他のオペレーティング・システムの導入』には、他のオペレーティング・システムやサポート・ソフトウェアの導入についての情報が記載されています。
- 第4章、『Windows 98 再導入時の詳細手順』には、回復のための Windows 98 の再導入についての情報が記載されています。
- 第5章、『サポート CD の使用方法』には、サポート CD で提供されるソフトウェアの導入または再導入についての情報が記載されています。
- 第6章、『診断プログラムの使用方法』には、本製品に付属の診断プログラム IBM Enhanced Diagnostic についての情報が記載されています。
- 付録A、『ライセンス情報』には、ユーザーのソフトウェア・ライセンスについての情報が記載されています。
- 付録B、『特記事項および商標』には、法律に関する特記事項と商標についての情報が記載されています。





本製品には、*Microsoft Windows 98*<sup>1</sup>、アプリケーション・プログラム、診断ツール、デバイス・ドライバーなど、さまざまなソフトウェアが付属しています。これらのソフトウェアには、*初期導入* されているものと、*導入可能*なものがあります。これらのソフトウェアは、本製品に付属の「IBM プログラムのご使用条件」および本書の付録A に記載の「ライセンス情報」によって、ライセンスを受けています。

## 導入済みソフトウェア

Windows 98 以外に、下記のソフトウェアが初期導入されています。

- 出荷時導入済みハードウェア用のデバイス・ドライバー
- IBM ウェルカム・センターでは、IBM によって提供されるソフトウェアの導入、日付および時刻の設定、プリンターのセットアップ、オンライン・ブックの表示、サポート CD の起動、および IBM 製品ならびに技術サポート情報の入手を行うことができます。

導入済みソフトウェアについての情報は、5ページの第2章、『始動』に記載されています。

### 重要:

1. 導入済みソフトウェアのバックアップ・ディスクは、本製品には付属していません。ただし、サポート CD には IBM 導入済みプログラムとデバイス・ドライバーのほとんどが入っています。

また、*Microsoft Windows 98* オペレーティング・システム (Microsoft 社提供のもので、IBM による修正はありません) は、バックアップのために別の CD で提供されます。この CD には、コンピューターに初期導入されている他のソフトウェアは入っていません。オペレーティング・システムを再導入する必要がある場合は、*Microsoft Windows 98* CD をサポート CD とともに使用してください。

(Windows 98 オペレーティング・システムや、事前に導入されたソフトウェアのディスクは、IBM から入手することはできません。)

---

<sup>1</sup> The Microsoft Certificate of Authenticity は、本製品上の Windows 98 ソフトウェアが、Microsoft 社から合法的にライセンスを受けていることを保証するものです。

Windows 98 の再導入に関しては、21ページの第4章、『Windows 98 再導入時の詳細手順』を参照してください。

2. ユーザーのハード・ディスクは、複数の論理区画 (FAT) に区分されています。C ドライブには、Windows 98 およびその他の事前導入済みソフトウェアが入っています。他の区画はフォーマット済みですが、ファイルは入っていません。
3. できるだけ早く、以下のディスクットを作成してください。
  - a. *IBM Enhanced Diagnostic* ディスクット。この起動可能なディスクットを使用すれば、コンピューターに関する問題を特定できます。(ディスクットの作成手順については、39ページの第6章、『診断プログラムの使用方法』を参照してください。)
  - b. *CD-ROM セットアップ起動ディスク* が同梱されている場合には、バックアップ・コピーを作成してください。(同梱されている場合には、Windows 98 のパッケージに含まれています。)

## すぐに導入できるソフトウェア

すぐに導入できるソフトウェアが、サポート CD とハード・ディスク上に提供されています。この CD とハード・ディスクには、IBM によって事前に導入されているプログラムおよびデバイス・ドライバの他に、追加ソフトウェアも含まれています。必要に応じて、どのプログラムを導入するかを決めてください。ここでは、CD に含まれている追加ソフトウェアのいくつかについて説明します。注 1 は、ハード・ディスクにある導入可能ソフトウェアのリストです。

注:

1. **Norton AntiVirus for IBM、ConfigSafe および IBM System Management Tools** の各導入可能ソフトウェアは、ハード・ディスクとサポート CD にあります。導入手順については、9ページの『アプリケーション導入プログラムの使用方法』を参照してください。
2. サポート CD に含まれるソフトウェアは変更されることがあり、次のリストとは異なる場合があります。いくつかのソフトウェアについては、Windows 98 以外のオペレーティング・システムに対応したものがサポート CD に収録されています。

### CoSession

IBM 技術員または組織内の管理者がリモート側からコンピューターの問題の診断および修正を行うことを可能とする通信ツール。「リモート・コントロール機能」を提供するソフトウェアです。

### IBM Global Network ダイアラー

このソフトウェアを使用すれば、IBM Global Network を通じてワールド・ワイド・ウェブに接続できます。

### IBM Netfinity サービス・プログラム

本製品のハードウェアおよびソフトウェアに関する詳細な情報の表示、DMI 情報のブラウズ、さまざまなシステム資源のモニター、および資産機密保護の管理を行うためのソフトウェアです。本製品が、Netfinity Manager の導入されているネットワークに接続されている場合には、Netfinity Manager は資産管理のために情報を収集し、本製品の操作をモニターすることができます。



本章には、本製品を始動する上で役立つ情報が記載されています。ここでは、次のことを説明します。

- 初めて本製品を始動する場合、その前に何が必要で、始動の後に何が起るか
- 以下の内容について
  - IBM ウェルカム・センターからの情報へのアクセスおよび操作の実行方法。
  - Norton AntiVirus、ConfigSafe、および IBM System Management Tools の導入およびアクセス方法。
  - オンライン・ブックの表示方法。
  - 本製品を安全に終了する方法。

### 本製品の初めての始動

初めて Windows 98 にアクセスする前に、Windows 98 のセットアップ手順を終えておく必要があります。

### 始動する前に必要なこと

Windows 98 のセットアップ手順を始める前に、次のものを用意する必要があります。

- 本章より詳しい情報が必要な場合には、本製品に付属の Windows 98 の説明書。
- Microsoft Certificate of Authenticity (Windows 98 の説明書の表紙に添付されています) のプロダクト ID 番号。
- ネットワーク管理者からのネットワーク情報 (該当する場合)。
- プリンターを本製品に直接接続する場合には、プリンターのモデルおよびプリンターが使用するポート。

## 「Windows 98 セットアップ」プログラムの実行

「セットアップ」プログラムをまだ実行していない場合には、本製品の始動時に実行されます。このプログラムは、必要に応じて、情報の選択や入力を求めるプロンプトを表示します。下記の説明よりも詳細な情報が必要な場合には、Windows 98 の説明書を参照してください。

### 注:

1. セットアップ手順の中で、Windows 98 のライセンス条項を受諾すること、およびプロンプトに対して Certificate of Authenticity のプロダクト ID 番号を入力することが必要となります。Certificate of Authenticity は、Windows 98 の説明書の表紙に添付されています。
2. セットアップ手順を完了して、システムを再始動すると、Windows 98 のデスクトップが表示され、「Windows 98 へようこそ」の画面が開きます。「Windows 98 へようこそ」ウィンドウからは、以下の選択ができます。

今すぐ登録: マイクロソフト社へ Windows 98 ソフトウェアを登録する場合は、このオプションをクリックします。(モデムが導入済である場合)

インターネットへ接続: インターネットへ接続する場合は、このオプションをクリックします。

**Windows 98** について: 次の情報にアクセスする場合は、このオプションをクリックします。

- コンピューター入門
- Windows 98 の概要
- Windows 98 の新機能

コンピューターのメンテナンス: コンピューターのパフォーマンスを最適化する、あるいは定期的なメンテナンスを設定する場合は、このオプションをクリックします。

**IBM ウェルカム・センター:** IBM ウェルカム・センターの機能を使用する場合は、このオプションをクリックします。IBM ウェルカム・センターの詳細については、8ページの『IBM ウェルカム・センターの使用方法』を参照してください。

3. ご使用のハード・ディスクは、複数の論理区画 (FAT) に区分されています。C ドライブには、Windows 98 およびその他の事前導入済みソフトウェアが入っています。他の区画はフォーマット済みですが、ファイルは入っていません。
4. できるだけ早く、3 (2ページ) で説明されている *IBM Enhanced Diagnostic* ディスケットと *CD-ROM セットアップ起動ディスク* (同梱されている場合) のバックアップ・コピーを作成してください。

## IBM ウェルカム・センターの使用法

IBM ウェルカム・センターは、以下のことを行うための中心となる場所です。

- そのまま導入できる形でハード・ディスク上に提供されている次のソフトウェアの導入。
  - Norton AntiVirus for IBM
  - ConfigSafe
  - IBM System Management Tools
- 次のようなセットアップ作業の実行
  - 時刻および日付の設定
  - プリンターのセットアップ
  - 使用環境を快適にするための情報の表示
- 次のようなオンライン・ブックの表示
  - *IBM Personal Computer 解説書*
  - *Netfinity ユーザーズ・ガイド*
- サポート CD を始動し、追加ソフトウェア(3ページの『すぐに導入できるソフトウェア』にリストされているものなど)を導入する

IBM ウェルカム・センターを使用するには、次の手順を実行します。

1. 「Windows 98 へようこそ」の中の「IBM ウェルカム・センター」をクリックします。「Windows 98 へようこそ」ウィンドウが閉じている場合には、Windows 98 デスクトップの「IBM ウェルカム・センター」アイコンをダブル・クリックします。
2. IBM ウェルカム・センターを使用して操作を実行したり情報を入力したりするには、一般に次の手順を実行します。
  - a. メインウィンドウの左側にリストされている、以下のカテゴリのいずれかをクリックします。

ようこそ  
始めに  
オンライン・ライブラリー  
システムのカスタマイズ



## IBM サービスのご案内

メインウィンドウに、カテゴリーごとの情報が表示されます。

- b. メインウィンドウで、選択可能なトピックまでスクロールしてクリックします。(選択可能なトピックは強調表示され、下線が引かれています。) 必要に応じ、画面に表示された指示に従います。

注:

1. 本章には、IBM ウェルカム・センターからの操作の実行についての追加情報があります。
2. IBM ウェルカム・センターの上部にある Microsoft Internet Explorer ツールバーの使用方法については、Windows 98 の説明書またはオンライン・ヘルプを参照してください。

## アプリケーション導入プログラムの使用方法

ハード・ディスクに導入済みのアプリケーション導入プログラムを使用して、以下のことを実行できます。

- Norton AntiVirus for IBM、ConfigSafe、および IBM System Management Tools を導入する
- ハード・ディスクからアプリケーション導入プログラムを削除する
- Norton AntiVirus for IBM、ConfigSafe、IBM System Management Tools に関する情報を表示する

注: アプリケーション導入プログラムは、サポート CD 上で使用することもできます。サポート CD の使用方法については、第5章を参照してください。

導入済みのアプリケーション導入プログラムを使用するには、次の手順を実行します。

1. IBM ウェルカム・センターのウィンドウで、始めにをクリックします。(IBM ウェルカム・センターのアクセス方法については、「IBM ウェルカム・センターの使用方法」を参照してください。)
2. 「アプリケーションの導入」セクションのアプリケーション導入プログラムの起動までスクロールしてクリックします。

3. ユーティリティー・プログラムのメニューが表示されたら、以下のうち該当するボタンをクリックします。
  - a. アプリケーションの導入は、Norton AntiVirus for IBM、ConfigSafe、IBM System Management Tools を導入します。  
最初の 3 つのアプリケーションの詳細については、11ページの『AntiVirus、ConfigSafe、IBM System Management Tools、およびその他のプログラムの使用法』を参照してください。
  - b. ハード・ディスクからこのユーティリティー・プログラムを削除は、ハード・ディスクからアプリケーション導入プログラムを削除します。
  - c. 内容の説明は、Norton AntiVirus for IBM、ConfigSafe、IBM System Management Tools に関する情報を表示します。
4. 操作を完了するには、適当な選択をして画面の指示に従います。

## オンライン・ブックを見る

IBM ウェルカム・センターから、解説書などのオンライン・ブックにアクセスできます。オンライン・ブックにアクセスするには、次の手順を実行してください。

1. IBM ウェルカム・センターのウィンドウで、オンライン・ライブラリーをクリックします。
2. 次に表示したいオンライン・ブックの名前までスクロールしてクリックします。

# AntiVirus、ConfigSafe、IBM System Management Tools、およびその他のプログラムの 使用法

ここでは、本製品に付属の Norton AntiVirus for IBM、ConfigSafe、IBM System Management Tools、およびその他のプログラムについて説明します。

ご使用のコンピューターには Windows 98 の提供する標準デスクトップ・プログラムが含まれています。それらはマイ・コンピューター、マイ・ドキュメント、ネットワーク・コンピューター、The Microsoft Network のセットアップ、ごみ箱、ブリーフケース、およびオンライン・サービスなどです。さらに、「スタート」メニューの「プログラム」からアクセスする、Windows 98 標準プログラムが付属しています。それらは、アクセサリ、スタートアップ、MS-DOS プロンプト、Windows エクスプローラーなどです。これらのグループのソフトウェアについては、Windows 98 の説明書またはオンライン・ヘルプを参照してください。

追加ソフトウェアはサポート CD で提供されています。詳細については、35 ページの第5章、『サポート CD の使用方法』を参照してください。診断ソフトウェアについては、39ページの第6章、『診断プログラムの使用方法』を参照してください。

## Norton AntiVirus for IBM

Norton AntiVirus for IBM プログラムは、コンピューターからウィルスを検出して除去する包括的なアンチウィルス製品です。Norton AntiVirus for IBM プログラムを導入するには、次の手順を実行します。

1. IBM ウェルカム・センターのウィンドウで、始めにをクリックします。関連した情報が表示されます。
2. 追加ソフトウェアの導入 セクションのアプリケーション導入プログラムの起動までスクロールしてクリックします。
3. ユーティリティー・プログラムのメニューが表示されたら、アプリケーションの導入ボタンをクリックします。導入の選択 ウィンドウで、**Norton AntiVirus for IBM** をクリックして強調表示します。

4. 追加ボタンをクリックしてタイトルを右側のパネルに移動します。その後 導入ボタンをクリックします。

このプログラムを導入した後に、現在の設定の変更または表示を行いたい場合には、次の手順を実行します。

1. Windows スタート・ボタンをクリックします。
2. プログラム、**Norton AntiVirus** を選択して、**Norton AntiVirus** をクリックします。
3. Norton AntiVirus ウィンドウで、オプションをクリックします。
4. 設定を確認し、必要なら変更します。
5. Norton AntiVirus メイン・メニューに戻り、スケジューラをクリックします。設定を確認し、必要なら変更します。
6. 変更を行った場合に変更内容を保管したいときは、**OK** ボタンをクリックします。

サポート文書はオンラインで提供されています。この資料にアクセスするには、Windows のスタート・ボタンをクリックします。次にプログラム、**Norton AntiVirus**、**Norton AntiVirus** マニュアル を選択し、リファレンス・ガイドまたはユーザーズ・ガイドを選択してください。(Adobe Acrobat を事前に導入する必要があります。)

## ConfigSafe

ConfigSafe、包括的なシステム構成情報の記録および回復ツールです。このプログラムは、デスクトップで障害が発生したり、使用できなくなった、もしくは開始できなくなった場合にユーザー（またはサポート担当者）が簡単にシステムを復元できるようにする機能を提供します。

ConfigSafe プログラムの特長には、以下のものがあります。

- メニュー方式のグラフィカル・インターフェース。
- スナップショット機能。この機能は、システム構成情報を自動的に取り込み、通常のスケジュールに保存します。この情報には、システム・ファイル、ハードウェア構成、ファイル・バージョン、ネットワーク接続、およびレジストリー情報が含まれます。

- 構成復元機能。この機能により、ほんの数秒間で、システムを直前の (または出荷時導入) 構成へ復元することができます。
- UNDO 機能。この機能を使用すると、最後に復元された変更を取り消して、直前の構成に戻ることができます。
- SOS (DOS 復元ユーティリティー) 機能。この機能を使用すると、Windows 98 デスクトップにアクセスできない場合にシステムを復元することができます。
- 基本システム構成に対して (故意にまたは無意識で) 行われた変更の自動追跡。
- レポート機能。この機能を使用すると、システム構成変更に関する即時レポートを生成する (その後、表示または印刷する) ことができます。レポートは、最後の 1 週間で、あるいは出荷時導入済み構成の後に発生した変更のリストといった、重要情報を提供することができます。  
これらのレポートは、システムの障害追及を行う際に役立ち、また問題解決の際に役立つように、サポート担当が表示したり、ファクシミリで送ることができます。
- リモート・アシスタンスを得るための、他のプログラム (CoSession など) との併用機能。
- 構成情報のバックアップやデータ収集といった、時間のかかる作業の自動実行。
- ハードウェアまたはソフトウェアの変更に先立って現行のシステム設定を簡単に取り込む方法 (ポイントしてクリック)。これにより、変更が行われたときに問題が発生した場合に、即時に回復する手段が提供されません。
- 特定の必要を満足させる、カスタマイズ可能な機能。

ConfigSafe は、特に、新しいアプリケーションまたはアダプターの導入後に問題が発生した場合に、貴重な障害追及ツールとなります。システム構成に変更を行う前に、ConfigSafe を使用して、現在稼動している構成のスナップショットを作成してください。こうしておくことで、構成ファイルでの変更によりコンピューターが使用不能になった場合にその構成に容易に戻ることができます。

ご自分で問題を解決できず、システム管理者の援助が必要な場合には、システム管理者に連絡する前に、ConfigSafe を使用して、構成の最新の変更に  
関するレポート作成してください。システム管理者は、このレポートに記載  
された情報を使って、ユーザーが問題を解決できるよう援助します。

ConfigSafe プログラムを導入するには、以下の手順を実行します。

1. IBM ウェルカム・センターのウィンドウで、始めにをクリックします。  
関連した情報が表示されます。
2. 追加ソフトウェアの導入 セクションのアプリケーション導入プログラムの  
起動までスクロールしてクリックします。
3. ユーティリティー・プログラムのメニューが表示されたら、アプリケー  
ションの導入ボタンをクリックします。導入の選択 ウィンドウで、  
**ConfigSafe** をクリックして強調表示します。
4. 追加ボタンをクリックしてタイトルを右側のパネルに移動します。その  
後 導入ボタンをクリックします。

導入が終わってからプログラムにアクセスするには、次の手順を実行しま  
す。

1. スタート・ボタンをクリックします。
2. プログラム、**ConfigSafe** を順に選択してから、**CONFIGSAFE** をク  
リックします。

サポート資料が、オンライン・ヘルプに組み込まれています。オンライン・  
ヘルプにアクセスするには、Windows のスタート・ボタンをクリックしま  
す。次に、プログラム、**ConfigSafe**、**CONFIGSAFE** を選択します。

## IBM System Management Tools

IBM System Management Tools は以下の構成要素から構成されます。

- Desktop Management Interface (DMI) Service Provider 2.0
- Desktop Management (DM) BIOS 2.0 Instrumentation
- IBM PC System Monitor Instrumentation
- IBM AssetCare
- IBM Alert on LAN
- IBM SMART Reaction Client

- Intel® LANDesk® Client Manager 3.1

注: IBM Alert on LAN はハードウェア・サポートを必要とします。この機能は一部のコンピューター・モデルのみがサポートしています。

### *IBM System Management Tools の構成要素*

IBM System Management Tools の各構成要素について以下に説明します。

DMI Service Provider 2.0 は、デスクトップ・コンピューターのソフトウェアおよびハードウェア製品から情報を集め、管理するプログラムです。デスクトップ・コンピューターは、単体でも、ネットワークにリンクされているものでも管理できます。各 DMI 適合構成要素は、その情報を DMI Service Provider に登録し、その情報は Management Information Format (MIF) データベースに記憶されます。DMI Service Provider は管理アプリケーション (Intel LANDesk Client Manager など) からの要求およびその他のコマンドを処理し、要求された情報を MIF データベースから検索したり、あるいは必要に応じてその要求を DMI 適合型製品に渡します。サポート資料は DMI Browser のヘルプ資料に組み込まれています。

DM BIOS 2.0 Instrumentation は、いったんコンピューターが稼働するとアクセスが困難となるハードウェア情報を収集します。DM BIOS Instrumentation はコンピューター BIOS から情報を検索し、この情報は DMI Browser を使って見ることができます。報告されるハードウェア情報には、メモリー構成、キャッシュ・サイズ、USB サポート、製品番号、システムのシリアル番号、BIOS バージョン、マイクロプロセッサ情報、システムのスロット情報などが含まれます。

IBM PC System Monitor Instrumentation はシステム・ボードの温度、システム電圧、およびファン速度を監視します。またコンピューター・カバーの取り外しについても検出します。データは DMI Service Provider に報告され、これには DMI Browser あるいは DMI 互換型システム管理ソフトウェアを使ってアクセスすることができます。IBM Netfinity Services または Intel LANDesk Client Manager などのシステム管理ソフトウェアを使用して、問題発生時にユーザーまたはシステム管理者に警報を送ることができます。

IBM AssetCare は、ご使用のコンピューター内の Enhanced Asset Information Area の構成およびデータの検索を行うアプリケーションです。Enhanced Asset Information Area は、構成要素の追跡および盗難検出機能を提供する EEPROM です。IBM AssetCare は、主要システム構成要素のシリアル番号をはじめ、リース、保証、およびユーザーおよびシステム情報の追跡を可能とします。DMI 互換型ネットワーク管理ソフトウェアを使用する際に個々のシステムをカスタマイズするための個別情報を追加することもできます。IBM AssetCare が構成の変更を検出すると、DMI 互換型警報を出します。さらに、ワイヤレス読取装置を使用して、IBM AssetCare が提供するコンピューターに関する情報にアクセスすることができます。

IBM Alert on LAN は、一部のコンピューター・モデルに付属する Alert on LAN ハードウェアを構成し、監視します。IBM Alert on LAN を使用して、自己診断テスト (POST)、オペレーティング・システムの問題、環境問題 (高システム温度およびシステム電圧変動など) および一部の機密保護違反 (コンピューター・カバーの取り外しなど) について LAN 管理者に通知することができます。Wake on LAN と同様、IBM Alert on LAN はコンピューターの電源がオフのときでも機能します。管理者は、IBM Netfinity Manager 5.10.3 または Intel LANDesk Client Manager Administrator 3.3 などのシステム管理ソフトウェアを使用して、IBM Alert on LAN を監視することができます。

IBM SMART Reaction Client は、Self-Monitoring, Analysis, and Reporting Technology (SMART) ハード・ディスクを備えたコンピューター上のデータを保護するためのプログラムです。SMART はハード・ディスクの状態を監視し、ドライブ内に障害の可能性がある場合は、予測的障害分析 (PFA) 警報を生成します。IBM SMART Reaction Client はこれらの警報を処理し、それらに対する対応策を行います (クライアント・ワークステーション上での画面メッセージの表示や、特定ワークステーションにハード・ディスク障害の可能性のあることを他のワークステーションに知らせるなど)。IBM SMART Reaction Client は高機能なバックアップおよび復元プログラム、ならびにミラーリング・プログラムを持ち、それらを使用して最大 64 個のフォルダーの内容を別のハード・ディスクに動的に“ミラーリング”することができます。ソース・ファイルが保管されると、ミラー・ファイルは同一データを持つように自動的に更新されます。IBM SMART Reaction Client は、バックアップのスケジューリング、復元、およびミラー処理のためのスケジューラーも内蔵しています。IBM SMART Reaction



Manager プログラムを最低 1 台のネットワーク・コンピューター上に導入し、稼働させないと、IBM SMART Reaction Client をクライアント・ワークステーションに導入することはできません。

Intel LANDesk Client Manager 3.1 は、IBM System Management Tools のすべての構成要素にアクセスするためのグラフィカル・ユーザー・インターフェースを提供するプログラムです。LANDesk Client Manager は、PC ヘルス・メーターおよび問題の起こる可能性に関する警報を発するためのメカニズムを含む、分かりやすい診断ツールも提供します。このアプリケーションは自動的にメモリーおよびその他のハードウェアを調べて障害の可能性を検出し、変更管理および復元について定期的に重要構成ファイルの状態を調査します。LANDesk Client Manager を使用してユーザー自身のコンピューターを管理することも、あるいは Intel LANDesk Client Manager Administrator とともに使用してネットワーク管理者がユーザーのコンピューターをリモート側で監視できるようにすることができます。

### *IBM System Management Tools の導入*

以下のようにして IBM System Management Tools を導入します。

1. IBM ウェルカム・センターのウィンドウで、始めにをクリックします。関連した情報が表示されます。
2. 追加ソフトウェアの導入 セクションのアプリケーション導入プログラムの起動までスクロールしてクリックします。
3. ユーティリティ・プログラムのメニューが表示されたら、アプリケーションの導入ボタンをクリックします。導入の選択 ウィンドウで、**IBM System Management Tools** をクリックして強調表示します。
4. 追加ボタンをクリックしてタイトルを右側のパネルに移動します。その後 導入ボタンをクリックします。

導入後に IBM System Management Tools にアクセスするには以下のようになります。

1. Windows スタート・ボタンをクリックします。
2. プログラム、**IBM System Management Tools** の順に選択していき、希望する選択肢をクリックします。

オンライン・ヘルプが必要なときは、Windows スタート・ボタンをクリックします。次に プログラム、**IBM System Management Tools**、**DMI MIF** ブラウザ (ローカル) を選択します。

## 本製品の終了方法

保存していないデータを失ったり、プログラムに損傷を与えたりすることのないように、コンピューターの電源を切る前には、必ず、終了手順を実行してください。

コンピューターを終了するには、次の手順を実行します。

1. 作業中のデータを保存します。
2. 開いているアプリケーションをすべて閉じます。
3. Windows スタート・ボタンをクリックします。
4. **Windows** の終了をクリックし、「電源を切れる状態にする」が選択されていることを確認し、**OK** をクリックします。

次にコンピューターの電源を入れたときに、Windows 98 は、最後にコンピューターを終了したときに開いていたウィンドウを復元します。

## 第3章 他のオペレーティング・システムの導入

---

Microsoft Windows NT Workstation 3.51 または 4.0、Microsoft Windows 95、あるいは OS/2 を導入または再導入する場合は、ソフトウェアまたはデバイス・ドライバーが必要となる場合があります。ハードウェア固有のサポート・ソフトウェアが、サポート CD で入手できます。

いずれのオペレーティング・システムを導入する場合でも、事前に必ず最新のフィックス・パックや CSD などを入手してください。これら入手するには、オペレーティング・システムの製造元に問い合わせるか、アクセスできれば製造元の Web サイトをチェックしてください。

オペレーティング・システムを導入するには、そのオペレーティング・システムに付属の資料に記載されている手順と、フィックス・パックや CSD など (ある場合) に従ってください。その後、35ページの第5章、『サポート CD の使用方法』に記載されている手順に従って、サポート・ソフトウェアを導入します。

本製品に付属している *Microsoft Windows 98* CD から Windows 98 を再導入する手順は、21ページの第4章、『Windows 98 再導入時の詳細手順』に記載されています。



この章は、Windows 98 を再導入する場合の手順をステップごとに細分化して詳細に記載しています。なお、ここに示す手順は、次の場合を前提にして、記述されています。

- Windows 98 を導入するハードディスクはすでにフォーマット済である場合
- ネットワークは、標準装備 (モデルによる) のイーサネットを使用する場合

### A. Windows 98 のインストール

必要なもの：

- Microsoft Windows 98 起動ディスク-1 (同梱されている場合)  
(以下、起動ディスクと呼びます)
- Microsoft Windows 98 CD-ROM
- 未使用ディスク一枚 (起動ディスクのバックアップ用)
- 未使用ディスク二枚 (Windows 98 導入中に作成する起動ディスク用)

**重要:**

既にハードディスクに必要なデータが入っている場合は、まず、そのファイルをディスク等に保存します。

---

ステップ	操作内容
001.	あらかじめ、同梱されている“起動ディスク”のバックアップを取りま す。方法としては“MS-DOS プロンプト”より Diskcopy を使って行 います。
002.	起動ディスクのバックアップ・ディスクを A ドライブに入れ、Power ON します。

---

---

ステップ	操作内容
------	------

---

003.

```
Microsoft Windows 98 Startup Menu
-----
1. Start Windows 98 Setup from CD-ROM.
2. Start computer with CD-ROM support.
3. Start computer without CD-ROM support.

Enter a choice: 1      Time remaining: .....
```

という起動メニューが表示されますので、「1」を選択し Enter キーを押すか、あるいはしばらく放置しておくで自動的に「1」が選択されて先へ進みます。

---

004. Windows 98 CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。

---

005. しばらくすると、次の画面が表示されます。

```
キーボードのタイプを判定します。
(中略)
[半角/全角(漢字)] : 106 日本語キーボード
```

「半角/全角」キーを押し、106 キーボードを選択します。

---

006.

```
Microsoft Windows 98 セットアップ
セットアップへようこそ。
セットアップ プログラムは、コンピュータで Windows 98 を
実行するための準備を行います。
Enter キーを押すと、Windows をセットアップします。
セットアップを続けるには、Enter キーを押してください。
```

と表示されます。メッセージに従い、Enter キーを押します。

---

ステップ	操作内容
007.	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>Windows をインストールする準備をしています。</p> <p>準備をしています。しばらくお待ちください....</p> <p>システムのチェックを行います。</p> <p>Enter キーを押すと続行します。Esc キーを押すと、セットアップを中止します。</p> </div>
	と表示されます。メッセージに従い、Enter キーを押します。
008.	ScanDisk が起動した場合は、各ドライブのスキャン終了後、エラーがないことを確認してから、X キーを押して、ScanDisk を終了します。
009.	Windows 98 セットアップ 画面が表示されます。 「続行」をクリックします。
010.	「ディレクトリの選択」の画面が表示されます。 ここでは、「C:\WINDOWS」を選択し、「次へ」をクリックします。
011.	次に「セットアップ方法」を選択します。今回は「標準」を選び、「次へ」をクリックします。
012.	「Windows ファイルの選択」画面が表示されます。 ここでは、「標準的なオプションをインストールする（推奨）（I）」を選択し、「次へ」をクリックします。
013.	「識別情報」ウィンドウが表示されます。 “コンピュータ名”、“ワークグループ名”、“コンピュータの説明”を入力して、「次へ」をクリックします。入力する情報についてわからない場合は、ネットワーク管理者に問い合わせてください。
014.	「地域の選択」画面が表示されます。 「日本」を選択し、「次へ」をクリックします。
015.	“起動ディスク”の画面が表示されますので、「次へ」をクリックします。
016.	“ディスクの挿入”となります。ディスクのラベルに“Windows 98 起動ディスク 1”と記入し、A ドライブから起動ディスクのバックアップ・ディスクを取り出し、代わりに未使用のディスクを挿入します。そして、「OK」をクリックします。

ステップ	操作内容
017.	「Windows 98 起動ディスク - 1 」が完成したら、2 枚目のディスクを挿入するよう指示が表示されます。A ドライブから“起動ディスク - 1”を取り出し、ディスク・ラベルに「Windows 98 起動ディスク - 2 」と記入した未使用ディスクを挿入し、「OK」をクリックします。
018.	“Windows 98 起動ディスク ”が完成したら、ディスクを A ドライブから取り出し、「OK」をクリックします。
019.	「コピー開始」画面が表示されます。 Windows 98 ファイルのコピーを開始するために、「次へ」をクリックします。
020.	しばらくすると、システムが再起動され、「ユーザー情報」の画面が表示されます。お名前、会社名を入力し、「次へ」をクリックします。
021.	「使用許諾契約書」の画面が表示されます。 Page Down キーまたはスクロール・バーをマウスで使用して読み、同意する場合は [同意する] にチェック・マークを付けて、「次へ」をクリックします。
022.	「プロダクト・キー」の画面が表示されます。 プロダクト・キーを入力し、「次へ」をクリックします。 プロダクト・キーは、同梱されているマニュアル「ファースト・ステップ・ガイド Microsoft Windows 98」の表紙の Certificate of Authenticity に記載されています。
023.	「ウィザードの開始」画面が表示されます。 「完了」をクリックし、Windows 98を起動します。
024.	しばらくすると、システムが再起動され、「日付と時刻のプロパティ」ウィンドウが表示されます。 日付、時刻、タイムゾーンが正しくない場合は、正しい値を入力し、「閉じる」をクリックします。
025.	しばらくすると、システムが再起動され、「ネットワーク・パスワードの入力」ウィンドウが表示されます。“ネットワーク・パスワード”を入力し「OK」をクリックするか、「キャンセル」をクリックします。“ネットワーク・パスワード”を入力した場合は、確認のため、もう一度入力するよう求められます。



---

ステップ	操作内容
026.	“Windows 98 へようこそ”のウィンドウが表示されたら、Windows 98 本体の導入は完了です。  “Windows 98 へようこそ”のウィンドウを閉じるために、タイトル・バー右端の閉じるボタン“X”をクリックします。

---

## B. ビデオのドライバーの導入

必要なもの： サポート CD

ステップ	操作内容
027.	画面左下の「スタート」->「ファイル名を指定して実行 (R)」をクリックします。
028.	CD-ROM ドライブに、“サポート CD” を挿入します。
029.	d:\ibmsetup と入力し、「OK」をクリックします。 (ただし、d: は CD-ROM のドライブ名です。)
030.	「アプリケーションとデバイス・ドライバーの導入」のボタンをクリックします。
031.	「S3 Trio 3D Graphics デバイス・ドライバー for Windows 95/98」を選択し、「追加」のボタンをクリックします。
032.	「導入」のボタンをクリックします。
033.	ここではサポート CD から直接導入する場合を選択し「OK」ボタンをクリックします。メモ帳が開き、注意事項に目を通し、クローズします。
034.	「スタート」->「設定 (S)」->「コントロール・パネル (C)」とクリックします。
035.	「画面」アイコンをダブル・クリックします。「画面のプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。
036.	「設定」タブをクリックします。
037.	「詳細」ボタンをクリックします。
038.	「標準 PCI グラフィック・アダプタ (VGA) のプロパティ」ダイアログが表示されます。「アダプタ」タグをクリックし、「変更」ボタンをクリックします。
039.	「デバイス・ドライバの更新ウィザード」が表示されます。「次へ」をクリックします。

ステップ	操作内容
040.	以下のチェック・ボックスをクリックしてチェック・マークを付けて、「次へ」をクリックします。  「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を作成し、インストールするドライバを選択する」
041.	「ディスク使用」ボタンをクリックします。
042.	「ディスクからインストール」ウィンドウが表示されます。 「配布ファイルのコピー元：」に次のように入力して、「OK」をクリックします。  d:\win95\stri3w95  ただし、d: は CD-ROM のドライブ名です。
043.	“S3 Inc. Trio 3D” を選択し、「OK」をクリックします。
044.	「次へ」をクリックします。
045.	「完了」をクリックします。
046.	「標準 PCI グラフィック・アダプタ (VGA) のプロパティ」ダイアログ・ボックスが表示されます。右下の「適用」ボタンをクリックします。
047.	「画面のプロパティ」ダイアログ・ボックスが開きます。ここではまだ希望する色数、画面解像度は設定せず、「閉じる」ボタンをクリックします。  ディスプレイの種類が指定されていない、というメッセージが表示された場合は、「はい」をクリックし、ここでディスプレイを指定します。
048.	「再起動しますか？」と表示されるので、「はい (Y)」をクリックします。
049	再起動後、「コントロール・パネル」の中の「画面」アイコンを使用して、ご希望の色数、画面解像度を設定してください。

## C. Cirrus Logic CrystalClear Audio ドライバーの導入

必要なもの：

- サポート CD
- Cirrus Logic CrystalClear Audio ドライバー用ディスクに使用する、未使用のディスク 1 枚

ステップ	操作内容
050.	画面左下の「スタート」->「ファイル名を指定して実行 (R)」をクリックします。
051.	CD-ROM ドライブにサポート CD を挿入します。
052.	d:\yibmsetup と入力し、Enter を押します。(ただし、d: は CD-ROM のドライブ名です。)
053.	「アプリケーションとデバイス・ドライバーの導入」のボタンをクリックします。
054.	「Cirrus Logic CrystalClear Audio for Windows 95/98」を選択し、「追加」のボタンをクリックします。
055.	「導入」のボタンをクリックします。
056.	ディスク・ファクトリーを使用してディスクを作成しますので、「はい」をクリックします。
057.	2MB(HD) の未使用のディスクを用意し、「はい」をクリックします。
058.	ディスクを A ドライブに挿入し、「OK」をクリックします。
059.	「はい」をクリックし、ディスクの内容が消去されることに同意します。
060.	書き込みが終了すると、ドライブからディスクを取り出し、指定されたラベルを付け、「OK」をクリックします。
061.	「OK」をクリックします。
062.	「メニューに戻る」をクリックします。
063.	「終了」をクリックします。

ステップ	操作内容
064.	作成した「Cirrus Logic CrystalClear Audio for Windows 95/98」のディスクをドライブ A に挿入します。
065.	「スタート」->「ファイル名を指定して実行 (R)」をクリックします。
066.	A:¥SETUP と入力し、「OK」をクリックします。
067.	システムが再起動を始めたら、A ドライブからディスクを抜き取ります。
068.	Windows が再起動したら、導入したオーディオ・ドライバーを有効にするために、「Windows の終了」->「電源を切れる状態にする」->「OK」をクリックします。
069.	システムの電源が切れたら、電源ボタンを押してシステムを再起動します。

## D. IBM 100/10 EtherJet PCI アダプター・ドライバーの導入

必要なもの：

- サポート CD
- 未使用のディスク 2 枚 (IBM 100/10 EtherJet PCI アダプター・ドライバー用)

ステップ	操作内容
070.	「スタート」->「ファイル名を指定して実行 (R)」をクリックします。
071.	d:\ibmsetup と入力し、「OK」をクリックします。 (ただし、d: は CD-ROM のドライブ名です。)
072.	「アプリケーションとデバイス・ドライバーの導入」のボタンをクリックします。
073.	「IBM 100/10 EtherJet PCI アダプター・ドライバー」を選択し、「追加」のボタンをクリックします。
074.	「導入」のボタンをクリックします。
075.	ディスク・ファクトリーを使用してディスクを作成します。 「はい」をクリックします。
076.	未使用のディスクを 2 枚用意し、「はい」をクリックします。
077.	1 枚目のディスクを A ドライブに入れ、「OK」をクリックします。
078.	「はい」をクリックします。
079.	書き込みが終了したら、ドライブからディスクを取り出し、指定されたラベルを付け、「OK」をクリックします。
080.	2 枚目のディスクを入れ、「OK」をクリックし、上記 078、079 のステップを繰り返します。
081.	ディスクの作成が終了しました。「OK」をクリックします。
082.	「スタート」->「設定 (S)」->「コントロール・パネル (C)」とクリックします。

ステップ	操作内容
083.	「システム」アイコンをダブル・クリックします。
084.	「システムのプロパティ」ウィンドウの「デバイス マネージャ」タブをクリックします。
085.	「ネットワークアダプタ」の左にある“+”をクリックします。
086.	表示された「intel 825x-based PCI Ethernet Adapter (10/100)」を選択します。
087.	「プロパティ」ボタンをクリックします。
088.	「ドライバ」タブをクリックします。
089.	「ドライバの更新」をクリックします。
090.	「デバイス・ドライバーの更新ウィザード」が開きますので、「次へ」をクリックします。
091.	「特定の場所にあるすべての... (中略) ... 選択する」を選び、「次へ」をクリックします。
092.	「デバイスの選択」ウィンドウが表示されますので「ディスク使用」をクリックします。
093.	配布ファイルのコピー元を A: のまま、ドライブ A にさきほど作成した IBM 100/10 EtherJet PCI Adapter のドライバー・ディスク 1 枚目を入れ、「OK」をクリックします。
094.	「IBM 100/10 EtherJet PCI Adapter」を選択して、「OK」をクリックします。
095.	「デバイス・ドライバの更新ウィザード」が開きますので、「次へ」をクリックします。
096.	Windows 98 CD-ROM を挿入するよう指示が表示されますので、Windows 98 CD-ROM を CD-ROM ドライブに挿入して、「(d:¥WIN98”を確認し)「OK」をクリックします。(ただし、d: は CD-ROM のドライブ名です。)
097.	「完了」をクリックします。
098.	今すぐ再起動しますか ? とたずねられたら、A ドライブからディスクを取り出してから、「はい (Y)」をクリックし、再起動します。

## E. Logitech ScrollPoint Mouse のドライバーの導入

必要なもの： サポート CD

ステップ	操作内容
099.	画面左下の「スタート」->「ファイル名を指定して実行 (R)」をクリックします。
100.	CD-ROM ドライブにサポート CD を挿入します。
101.	d:\ibmsetup と入力し、Enter を押します。(ただし、d: は CD-ROM のドライブ名です。)
102.	「アプリケーションとデバイス・ドライバーの導入」のボタンをクリックします。
103.	「Logitech ScrollPoint Mouse デバイス・ドライバー for Windows 95/98」を選択し、「追加」のボタンをクリックします。
104.	「導入」のボタンをクリックします。
105.	「OK」をクリックします。
106.	「高速セットアップ」のアイコンをクリックします。
107.	「再起動」のアイコンをクリックし、システムを再起動させます。
108.	「スタート」->「設定」->「コントロール・パネル」をクリックします。
109.	「マウス」アイコンをダブル・クリックします。
110.	「新規マウスの設定を今すぐに行いますか」で「はい」を選択します。
111.	「マウス設定ウィザード」が表示されますので、「次へ」をクリックします。
112.	マウスの置き場所を選択する画面が表示されますので、「キーボードの右側」あるいは「左側」を選択し、「次へ」をクリックします。
113.	設定内容を確認し、「完了」をクリックします。
114.	「マウスのプロパティ」ウィンドウが表示されますので、「OK」をクリックし、設定を終了します。



## F. 同梱アプリケーションのインストール

必要なもの： サポート CD

以下、必要に応じて、システムに同梱されているアプリケーションの導入をサポート CD を使って行います。

ステップ	操作内容
115.	画面左下の「スタート」->「ファイル名を指定して実行 (R)」をクリックします。
116.	CD-ROM ドライブにサポート CD を挿入します。
117.	d:\ibmsetup と入力し、Enter を押します。 (ただし、d: は CD-ROM のドライブ名です。)
118.	「アプリケーションとデバイス・ドライバーの導入」のアイコンをクリックします。
119.	導入するアプリケーションを選び、「追加」のアイコンをクリックします。
120.	「導入」のアイコンをクリックします。後は、画面の指示に従ってください。



サポート CD からデバイス・ドライバーやその他のソフトウェアを導入または再導入する場合には、この章の情報を使用してください。

### CD の機能

サポート CD には、各種のオペレーティング・システム環境のためのデバイス・ドライバー、およびその他のサポート・ソフトウェアが含まれています。

#### 重要

サポート CD には、オペレーティング・システムは含まれていません。この CD は、お使いのオペレーティング・システムが本製品にすでに導入されていないと、使用できません。

この CD を使用して、次のことができます。

- CD-ROM ドライブが装備されたモデルへの、CD からの一部のアプリケーションの直接導入。
- サポート CD にあるソフトウェア製品のローカル・エリア・ネットワーク (LAN) イメージを作成し、LAN ディスクから製品を導入する。
- CD から導入できないソフトウェア製品のディスクットを作成して、ディスクットから製品を導入する。

CD にあるユーティリティー・プログラムには、使いやすいグラフィカル・インターフェースと、ほとんどの製品の自動導入手順が備わっています。またユーティリティー・プログラムには、ヘルプ・システムと、ユーティリティー・プログラムの機能、CD から導入できるソフトウェア製品、およびこれらの製品がサポートする操作環境について説明している総合的な概要も用意されています。

サポート CD に入っている製品は、「IBM プログラムのご使用条件」およびサポート CD 中の「CD-ROM の概要を見る」に含まれている「ライセンス情報」の条件でライセンスを受けています。本冊子の付録Aに記載されているライセンス情報は、初期導入済みのソフトウェア用のものであり、サポート CD 中の「CD-ROM の概要を見る」に記載されているライセンス情報は、該当する CD ソフトウェア用のものです。

## CD の始動

サポート CD のソフトウェアを導入したり、関連するデバイス・ドライバやプログラムについての概要を表示したりするには、以下の手順を実行します。

1. CD-ROM ドライブに サポート CD を挿入します。
2. CD を始動します。Windows 98、Windows 95 または Windows NT 4.0 のデスクトップで、**IBM ウェルカム センター**をダブル・クリックし、「システムのカスタマイズ」をクリックして、「サポート CD の起動」をクリックします。

あるいは

お使いのオペレーティング・システムに応じて、下記の手順で CD を開始します。

- Windows 98、Windows 95 または Windows NT 4.0 の場合：  
Windows のスタート・ボタンをクリックし、次にファイル名を指定して実行をクリックしてから次のように入力します。

```
e:¥ibmsetup
```

(ここで、e: は、CD-ROM ドライブ名です。) **Enter** を押します。

- Windows NT 3.51 の場合：Windows のプログラム・マネージャーのパネルから、メニュー・バーのアイコンをクリックし、ファイル名を指定して実行をクリックしてから、次のように入力します。

```
e:¥ibmsetup
```

(ここで、e: は、CD-ROM ドライブ名です。) **Enter** を押します。

- OS/2 の場合：OS/2 コマンド・プロンプトで、次のように入力します。

```
start /win e:¥ibmsetup
```

(ここで、e: は、CD-ROM ドライブ名です。) **Enter** を押します。

3. メインメニューが表示されたら、希望のオプションを選択して、その後は画面の指示に従います。

プログラムの導入が終わったら、スタート・メニューのプログラム選択項目からプログラムにアクセスできます。ほとんどのプログラムでは、サポート資料がオンライン・ヘルプに組み込まれています。また、オンライン資料が提供されているものもあります。



IBM 提供の診断プログラムを実行すれば、ハードウェアの問題と一部のソフトウェアの問題を診断できます。コンピューターについての情報を提供するユーティリティー・プログラムもいくつか含まれています。

注: 障害追及の図表や自己診断テスト (POST) エラー・メッセージに関する訂正手段などのその他の診断情報は、*ユーザーズ・ガイド* に記載されています。

### Enhanced Diagnostics

*IBM Enhanced Diagnostic* のディスクット・イメージが、サポート CD で提供されています。この診断プログラムは、オペレーティング・システムとは関係なく動作します。Watergate Software の PC-Doctor は、診断とユーティリティーを実行するためのユーザー・インターフェースです。

このプログラムを使用して、本製品のハードウェア (および一部のソフトウェア) 構成要素をテストできます。一般にこのテスト方法は、他の方法が使用できない場合、またはハードウェアに関連すると思われる問題がうまく特定できなかった場合に使用します。

ここでは、以下のための手順を説明します。

- サポート CD から、*IBM Enhanced Diagnostic* ディスクットを作成する方法
- ディスクットからプログラムを始動する方法

*IBM Enhanced Diagnostic* ディスクットを作成するには、次の手順を実行します。

1. CD-ROM ドライブにサポート CD を挿入します。
2. 「Windows 98 へようこそ」パネルがオープンされている場合には、閉じます。
3. **IBM** ウェルカム・センター をダブル・クリックします。
4. IBM ウェルカム・センター・ウィンドウで、システムのカスタマイズ をクリックします。 関連した情報が表示されます。
5. サポート CD の起動をクリックします。

6. サポート CD のメニューが表示されたら、アプリケーションとデバイス・ドライバの導入ボタンをクリックします。
7. 導入の選択ウィンドウで、**IBM Enhanced Diagnostic** (PC Doctor for DOS) をクリックして強調表示し、追加ボタンをクリックしてタイトルを右側のパネルに移動します。その後導入ボタンをクリックします。
8. **Enter** を押してディスクett・ファクトリーを実行します。ウィンドウに表示される指示に従います。
9. ディスクett・ドライブに空の高密度ディスクettを挿入して、**Enter** を押します。
10. 処理が完了したら、ディスクettを取り出してラベルを貼ります。

Enhanced Diagnostic プログラムを始動するには、次の手順を実行します。

1. Windows 98 を終了して、コンピューターの電源を切ります。(手順については、18ページの『本製品の終了方法』を参照してください。)
2. 接続されている装置の電源を切ります。
3. *IBM Enhanced Diagnostic* (PC Doctor for DOS) ディスクettをドライブ A に挿入します。
4. 接続されているすべての装置の電源を入れてから、コンピューターの電源を入れます。
5. 画面の指示に従います。ヘルプを表示するには、F1 を押します。



この冊子に記載のライセンス情報は、「IBM プログラムのご使用条件」により使用許諾される IBM 製および他社製の「プログラム」に適用されるものです。また、IBM が、この PC とともに提供するプログラムには、独自の使用条件を有するものもあります。これらのプログラムは、別段の定めがある場合を除き、特定物として現存する状態で提供され、法律上の瑕疵担保責任、商品性の保証および特定目的適合性の保証を含むすべての明示または黙示の保証は適用されません。

この冊子で参照しているプログラムには、すべての言語版で提供されていないもの、またはすべての国で入手可能とは限らないものもあります。また、プログラムによっては、実際に市販されているバージョンとは異なることがあります。共に出荷されるこの PC 用にカスタマイズされていることがあります。これらの「プログラム」はすべてのマニュアル等の資料を含んでいない場合、または、すべての機能を有していない場合があります。なお、これらのプログラムは、すべて個別に販売されているとは限りません。

### プログラム名

初期導入済プログラム (Windows 98 を除く)

### 追加条件

家庭用コンピューター/携帯用コンピューターへの複製および使用：この「プログラム」には適用されません。

プログラムの移転：この「プログラム」は、「プログラム」の調達元 (IBM または IBM 認定再販売者) の書面による同意がある場合に限り、第三者に移転することができます。

使用権の証明：この「プログラム」に対するお客様の使用権は、所定のライセンス証書により確認されます。IBM または IBM 認定再販売者が提供する将来における「プログラム」の上位移行 (発表された場合) または販売促進用の特別な措置 (提供された場合) 等の資格の確認およびこの「プログラム」に対する使用権の証明として、ライセンス証書を保管するものとします。

このシステムとともに提供された「プログラム」には限定的な技術サポートのみが提供されます。詳細については、システムのマニュアルを参照してください。

## プログラム・サービス

この「プログラム」にはプログラム・サービスは提供されません。この「プログラム」は、特定物として現状のまま提供されます。

## 保証

### 初期導入済プログラム

これらの「プログラム」は、特定物として現存するままの状態を提供され、法律上の瑕疵担保責任、商品性の保証および特定目的適合性の保証を含むすべての明示または黙示の保証は適用されません。

## その他

この「ライセンス情報」にて参照している書類を含め、この「プログラム」に関するいかなる書類も、お客様の参照のために提供されるもので、「ライセンス情報」記載の内容を拡張または変更するものではありません。

## その他の追加条件

以下の条件は、IBM システム（以下「システム」といいます。）とともにディスクともしくは CD-ROM の形で提供、「システム」上に初期導入、CD-ROM、システムもしくはローカル・エリア・ネットワーク（LAN）から IBM 所定のプログラムを使用してディスクに複製したデバイス・ドライバー、ユーティリティー・プログラムおよびフラッシュ BIOSコード（以下あわせて「システム・プログラム」といいます。）に適用されます。「システム」とは、IBM 機械本体、機構、形式変更、オプションおよびその組み合わせを意味します。

お客様が「システム」の正当な占有者である場合、または「システム」の保守の目的で「プログラム」を取得された場合、IBM またはその直接もしくは間接の子会社は、お客様に対し、「システム」と共にもしくはその一部として「プログラム」を使用する権利、および「プログラム」を回復または保守のために使用する権利を許諾します。「システム」の正当な占有者に対して「システム」の回復または保守を目的としてのみ「プログラム」の複製物を配布し、導入することができます。ただし、この場合、この使用条件のコピーも合わせて提供するものとします。当該占有者が「プログラム」を使用開始したときには、この使用条件に同意したものとします。

「プログラム」の複製物には、お客様は「プログラム」と同一の著作権表示を必ず行うものとします。



この付録は、IBM 製品の可用性、特許、出願中の特許、および商標の情報の法的な特記事項を記載しています。

### 特記事項

本書において、日本では発表されていないIBM製品（機械およびプログラム）、プログラミングまたはサービスについて言及または説明する場合があります。しかし、このことは、弊社がこのようなIBM製品、プログラミングまたはサービスを、日本で発表する意図があることを必ずしも示すものではありません。本書で、IBMライセンス・プログラムまたは他のIBM製品に言及している部分があっても、このことは当該プログラムまたは製品のみが使用可能であることを意味するものではありません。これらのプログラムまたは製品に代えて、IBMの知的所有権を侵害することのない機能的に同等な他社のプログラム、製品またはサービスを使用することができます。ただし、IBMによって明示的に指定されたものを除き、これらのプログラムまたは製品に関連する稼働の評価および検証はお客様の責任で行っていただきます。

IBMおよび他社は、本書で説明する主題に関する特許権（特許出願を含む）商標権、または著作権を所有している場合があります。本書は、これらの特許権、商標権、および著作権について、本書で明示されている場合を除き、実施権、使用权等を許諾することを意味するものではありません。実施権、使用权等の許諾については、下記の宛先に、書面にてご照会ください。

〒106-0032 東京都港区六本木3丁目2-31  
AP事業所  
IBM World Trade Asia Corporation  
Intellectual Property Law & Licensing

### 商標

以下の用語は米国およびその他の国における IBM Corp. の商標です。

Alert on LAN	Netfinity
Global Network	OS/2
HelpCenter	PC 300
IBM	SMART Reaction
IBM Global Network	Wake on LAN

Microsoft, MS-DOS, Windows, および Windows NT は Microsoft Corporation の商標あるいは、登録商標です。

Intel および LANDesk は Intel Corporation の登録商標です。

その他の会社名、製品名およびサービス名は、他社の商標またはサービス・マークです。





Printed in Japan

1998年9月

日本アイ・ビー・エム株式会社  
〒106-8711 東京都港区六本木3-2-12



SA88-6574-00



**Artwork Definitions**

<u>id</u>	<u>File</u>	<u>Page</u>	<u>References</u>
COV	D4BE8SET	i	i

**Grid Definitions**

<u>id</u>	<u>File</u>	<u>Page</u>	<u>References</u>
PROC	D4BE8SET	i	
HAFPROC	D4BE8SET	i	

**Table Definitions**

<u>id</u>	<u>File</u>	<u>Page</u>	<u>References</u>
FIG	D4BE8SET	i	

**Headings**

<u>id</u>	<u>File</u>	<u>Page</u>	<u>References</u>
ABOUT	D4BE8PRF	v	本書について
CH1	D4BE8CH1	1	第1章, ソフトウェアの概説 v
RTISL	D4BE8CH1	3	すぐに導入できるソフトウェア 8
CH2	D4BE8CH2	5	第2章, 始動 v, 1
START	D4BE8CH2	5	本製品の初めての始動
UWC	D4BE8CH2	8	IBM ウェルカム・センターの使用 方法 6
RTCHD	D4BE8CH2	9	アプリケーション導入プログラムの 使用 方法 3
BOOKS	D4BE8CH2	10	オンライン・ブックを見る

USEPA	D4BE8CH2	11	AntiVirus、ConfigSafe、IBM System Management Tools、およびその他のプログラムの使用法 10
ANTIV	D4BE8CH2	11	Norton AntiVirus for IBM
CFS	D4BE8CH2	12	ConfigSafe
CC	D4BE8CH2	14	IBM System Management Tools
COMP	D4BE8CH2	15	IBM System Management Tools の構成要素
INCLI	D4BE8CH2	17	IBM System Management Tools の導入
SHUTD	D4BE8CH2	18	本製品の終了方法 40
IOS	D4BE8CH3	19	第3章、他のオペレーティング・システムの導入 v
APC	MOJAV17A	21	第4章、Windows 98 再導入時の詳細手順 v, 2, 19
RTC	D4BE8CH5	35	第5章、サポート CD の使用方法 v, 9, 11, 19
SCD	D4BE8CH5	36	CD の始動
DIA	D4BE8CH6	39	第6章、診断プログラムの使用方法 v, 2, 11
APA	D4BE8APA	41	付録A、ライセンス情報 ii, v, 1, 35
PN	D4BE8APA	41	プログラム名
ATC	D4BE8APA	41	追加条件
PSV	D4BE8APA	42	プログラム・サービス
W	D4BE8APA	42	保証
OD	D4BE8APA	42	その他
APB	D4BE8APB	45	付録B、特記事項および商標 ii, v

<b>List Items</b>
-------------------

<u>id</u>	<u>File</u>	<u>Page</u>	<u>References</u>
REI	D4BE8CH1	1	1
DISKS	D4BE8CH1	2	3
EDD	D4BE8CH1	2	3a
HDS	D4BE8CH1	3	1
WCC1	D4BE8CH2	8	2a
WCC2	D4BE8CH2	9	2b
RTCU	D4BE8CH2	10	3
IA	D4BE8CH2	10	3a

<b>Revisions</b>
------------------

<u>id</u>	<u>File</u>	<u>Page</u>	<u>References</u>
1	D4BE8SET	i	
2	D4BE8SET	i	
4	D4BE8SET	i	

<b>Spots</b>
--------------

<u>id</u>	<u>File</u>	<u>Page</u>	<u>References</u>
USIP	D4BE8CH2	9	(no text)
IE	D4BE8CH2	11	(no text)
EDNOT	D4BE8APA	41	(no text)

<b>Processing Options</b>
---------------------------

Runtime values:

Document fileid .....	D4BE8BAS SCRIPT
Document type .....	USERDOC
Document style .....	HWPROTO
Profile .....	EDFPRF40
Service Level .....	0028
SCRIPT/VS Release .....	4.0.0
Date .....	98.08.08
Time .....	16:19:04
Device .....	PSA
Number of Passes .....	3
Index .....	YES
SYSVAR G .....	INLINE
SYSVAR X .....	YES

Formatting values used:

Annotation .....	NO
Cross reference listing .....	YES
Cross reference head prefix only .....	NO
Dialog .....	LABEL
Duplex .....	YES
DVCF conditions file .....	(none)
DVCF value 1 .....	(none)
DVCF value 2 .....	(none)
DVCF value 3 .....	(none)
DVCF value 4 .....	(none)
DVCF value 5 .....	(none)
DVCF value 6 .....	(none)
DVCF value 7 .....	(none)
DVCF value 8 .....	(none)
DVCF value 9 .....	(none)
Explode .....	NO
Figure list on new page .....	YES
Figure/table number separation .....	NO
Folio-by-chapter .....	NO
Head 0 body text .....	第
Head 1 body text .....	第
Head 1 appendix text .....	付録
Hyphenation .....	NO
Justification .....	NO
Language .....	JAPA
Keyboard .....	395
Layout .....	OFF
Leader dots .....	YES
Master index .....	(none)
Partial TOC (maximum level) .....	(none)
Partial TOC (new page after) .....	PAGE
Print example id's .....	NO
Print cross reference page numbers .....	YES
Process value .....	(none)
Punctuation move characters .....	(none)
Read cross-reference file .....	(none)
Running heading/footering rule .....	NONE
Show index entries .....	NO

Table of Contents (maximum level) ..... 3  
Table list on new page ..... YES  
Title page (draft) alignment ..... RIGHT  
Write cross-reference file ..... (none)

**Imbed Trace**

Page 0	D4BE8SET
Page i	D4BECOPY
Page iv	D4BE8PRF
Page vi	D4BE8CH1
Page 3	D4BE8CH2
Page 18	D4BE8CH3
Page 19	MOJAV17A
Page 33	D4BE8CH5
Page 36	D4BE8CH6
Page 40	D4BE8APA
Page 42	D4BE8APB
Page 45	E1D9IBMT
Page 46	E1D9GENT
Page 48	D4BE8DTE